



第94回 澁川摂食嚥下研究会レポート

日時：令和7年6月3日（火）午後7時00分～

会場：澁川ほっとプラザ 4階大会議室

講演 「食べない人へのアプローチについて」

講師 （1）訪問看護ステーションたいわ澁川

看護師 大前 剛 氏

（2）GOOD コール/グループ訪問看護ステーション

看護師 依田 弘樹 氏

参加者内訳

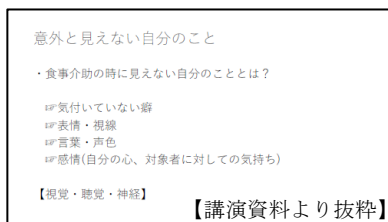
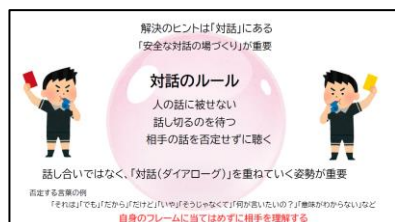
職種	参加人数
医師	4
歯科医師	5
薬剤師	1
保健師・看護師	23
ST・OT・PT	6
管理栄養士・栄養士	13
MSW・相談員	2
ケアマネ	17
介護職員	5
その他	5
合計人数	81

みなさん、「食べたくないから」と食事を取りたがらない方にお会いしたことはありませんか？理由を尋ねてもはっきりしない・・・健康に良くないのに・・・など、悩んだ経験はありませんか？「食べたくない」この言葉の背景ある原因を明確にするために、そして「食べよう」と思ってもらうために、今回は、精神科訪問看護を行なっているお二人に講演していただきました。

大前先生からは、多職種で情報を持ち寄り、BPSモデル（生物的・心理的・社会的）で多角的に捉えることが重要とのお話でした。そして大切なのは対話をする。否定せず、バイアスにとらわれず、話を最後まで聞く。相手の意見や感情を尊重し、心を通わせるコミュニケーションを積み重ねることで、「食べたくない」背景を明確にしていくそうです。

依田先生からは、環境調整や色の効果で感覚に働きかけ、食欲を引き出す工夫を中心に。また、参加した方に「人前で口を開けて、食事を待つ気持ち」「介助者の仕草や表情で感じることを体験していただきました。介助される側の視点を想像するだけでなく、介助する自分自身を客観的に見ることで、不快にさせる因子はないか？考える必要があると、ご自身の経験を基に話してくださいました。

お二人の講演で共通していたことは、食事は楽しいと思ってもらうことの大切さでした。対話を大切に、心を満たす食事ができるように、新たな視点で支援できるような気がしました。



お口の中を見られことが、恥ずかしく感じる方もいるそうです。

【次回 第95回 澁川摂食嚥下研究会の予定】

開催について：8月5日（火）午後7時～／澁川医療センター 大会議室

演題：「体成分分析装置 InBody について」（仮）

講師：澁川医療センター

管理栄養士 林 賢悟 氏

※会場が異なりますので、ご注意ください